

2022年度生 一次 入学試験問題（専門科目）

（※ 答はすべて解答用紙に記入しなさい。）

1 下記の設問に答えなさい。

1. 看護師の守秘義務で正しいのはどれか。
 - ① 研究に活用する場合、本人の同意を得なければならない。
 - ② 患者が死亡した場合、継続の必要はない。
 - ③ 退職した後は継続の必要はない。
 - ④ 守らなくても、刑罰を受けることはない。

2. 1人の看護師が、1人の患者の入院から退院まで一貫して責任を持つ看護の提供方法はどれか。
 - ① 受け持ち制看護
 - ② 機能別制看護
 - ③ チームナーシング
 - ④ プライマリーナーシング

3. I. J. オランダの看護の概念はどれか。
 - ① セルフケア獲得のための支援
 - ② 患者との対人相互作用の発展
 - ③ 刺激の操作による適応の促進
 - ④ ケアリングによる調和の促進

4. 病室環境の照明について誤っているのはどれか。
 - ① 人工照明の調節は、サーカディアンリズムに影響しない。
 - ② 天井灯は、作業能率を上げるために重要である。
 - ③ 夜間床頭灯を使用する場合は、カーテンを用い他の患者へ配慮する。
 - ④ 夜間灯は足元のみを照らし、安全を確保する。

5. 睡眠について正しいのはどれか。
 - ① 人の睡眠周期は、約60分をひとかたまりとしてとらえる。
 - ② 加齢に伴いノンレム睡眠は少なくなり、若いときに比べて浅くなる。
 - ③ ノンレム睡眠は、急速眼球運動を伴う睡眠であり、夢をみていることが多い。
 - ④ レム睡眠は、浅い睡眠からぐっすり熟睡する状態まで、いくつかの段階に分けられる。

6. 清潔の援助について、誤っているのはどれか。
 - ① 皮膚を摩擦することで血液循環をよくし、新陳代謝を促進させる。
 - ② 清拭をする場合、室温は22～26℃、準備する湯の温度は50～55℃程度に保つ。
 - ③ 背部の清拭では、頸部後面を拭いた後、肩から腰へと上下に往復しながら拭く。
 - ④ 陰部洗浄を行う場合、湯の温度は32～34℃程度のものを準備する。

7. 持続的導尿を行う時の必要物品はどれか。

- ① 膀胱留置チューブ
- ② 膀胱留置ドレーン
- ③ 膀胱留置カテーテル
- ④ 膀胱留置カニューレ

8. 一般的に薬剤の吸収が最も遅いのはどれか。

- ① 皮下注射
- ② 筋肉内注射
- ③ 吸入
- ④ 経口与薬

9. 中心静脈栄養法の実際について正しいのはどれか。

- ① 食物摂取と消化管の消化・吸収が出来ない患者のみ適応となる。
- ② カテーテル刺入部の消毒は、消毒用アルコール綿を用いて行う。
- ③ カテーテルは縫合固定されているので、テープで固定する必要はない。
- ④ 定期的に尿糖、または血糖値を測定する。

10. 安全を守るための抑制について正しいのはどれか。

- ① 患者がベッドからの転落を気にせず、安眠できることは目的の一つである。
- ② 主治医の指示や了解があれば、患者・家族に説明を行わなくてもよい。
- ③ 患者が動けないように四肢を強く固定する。
- ④ 患者のストレスを増強させないため、言葉かけのみ頻回に行う。

11. 検査について誤っているのはどれか。

- ① 検査には生体検査と検体検査があり、生体検査は患者自身を対象とする。
- ② 細菌学的検査の場合は、滅菌容器を用いて無菌操作で採取する。
- ③ 尿検査には、一般検査・細菌検査・尿成分の分析と定量の検査がある。
- ④ 便潜血検査の場合は、前日の動物性食品の摂取を中止する。

12. 褥瘡について正しいのはどれか。

- ① 褥瘡の好発部位は、後頭部・肩甲骨部・大転子部などであり、特に後頭部は体重の1/2がかかり、最も起こしやすい部位である。
- ② 褥瘡はグレードⅠ～Ⅳに分けられ、Ⅰは筋肉・骨まで達したものの、Ⅳは表皮のみに局限したものである。
- ③ 褥瘡発生子測スケール（ブレーデン・スケール）では、点数が低いほど褥瘡発生の危険度が高い。
- ④ 発赤部位のマッサージは、循環がよくなり組織を活性化させるため有効である。

13. 成人各期の発達課題や特徴について、正しいのはどれか。

- ① 青年期の身体的特徴は、第2次性徴の発現や身体的発達が著しい時期を経て安定する。
- ② 青年期は、人間として心身ともに充実する時期である。
- ③ 壮年期の精神的・社会的特徴として、「アイデンティティの確立」が挙げられる。
- ④ 壮年期の生活習慣病は、生活習慣によってのみ起こる。

14. 心不全患者の看護について誤っているのはどれか。

- ① 排便時の怒責を避けるために、排便コントロールを行う。
- ② 浮腫は、足背や下腿に生じやすいため、マッサージなどで循環を促進させる。
- ③ 呼吸困難出現時は、心臓への負担を軽減するため仰臥位とする。
- ④ 食事は、総エネルギー・塩分・水分の制限とともに、バランスよく摂取するよう説明する。

15. 高次脳機能障害で現れないのはどれか。

- ① 失語
- ② 失行
- ③ 認知機能障害
- ④ 痙攣

16. 大腸がんについて誤っているのはどれか。

- ① 盲腸からS状結腸までの結腸がんと、直腸に発生する直腸がんに分けられる。
- ② 症状として、便秘・腸閉塞・腹痛などがあり、部位によって症状が異なる。
- ③ 人工肛門造設の位置設定は、看護師がケアしやすい位置を優先的に行う。
- ④ 手術操作によって骨盤神経や膀胱神経を損傷した場合は、手術後排尿障害を起こしやすい。

17. 子宮筋腫の症状について誤っているのはどれか。

- ① 月経異常
- ② 不整脈
- ③ 圧迫症状
- ④ 貧血

18. ネフローゼ症候群について正しいのはどれか。

- ① 診断の必須基準として、たんぱく尿・低アルブミン血症のどちらかを認める。
- ② 浮腫が上肢、特に手背に著明に出現する。
- ③ 合併症として血栓症を起こしやすいため、胸痛や呼吸困難などの有無を観察する。
- ④ 低たんぱく血症となるため、高たんぱく食を摂取するよう説明する。

19. 透析について適切なのはどれか。

- ① 間欠的腹膜透析は、家庭で連日実施できるので、仕事を持つ患者には便利である。
- ② 血圧はシャント側で測定する。
- ③ 血液透析の合併症には不均衡症候群がある。
- ④ 検査値についての説明は、精神的負担になるため避ける。

20. 抜歯後の看護について、正しいのはどれか。

- ① ガーゼをしっかり噛むと刺激となり再出血の原因となるため、ゆるく噛むよう指導する。
- ② 抜歯後は、すぐに食事をしてかまわないことを伝える。
- ③ 抜歯当日は、口腔内の清潔を保持するため頻回にうがいをする。
- ④ 患者の全身状態及び疼痛、止血の状態を確認してから帰宅させる。

21. 高齢者の看護について誤っているのはどれか。

- ① 疾病の症状が顕著に現われにくいいため、細やかな観察が重要である。
- ② 便秘の要因は、活動性の低下や水分・繊維質の摂取量の減少であることをふまえて指導する。
- ③ 誤嚥を予防するため、食事の援助の際は坐位にすることが望ましい。
- ④ 高齢になるほど味覚の感受性が増すため、薄い味付けにする。

22. 薬物療法を受ける高齢者の看護について、誤っているのはどれか。

- ① 薬物に対する感受性や抵抗力の低下により、予期しない副作用が出現することもある。
- ② 視力や聴力の低下により、服用方法を正しく理解できないこともある。
- ③ 薬剤を飲み忘れた場合は、2回分一度に内服するよう伝える。
- ④ 薬物の吸収速度・解毒機能・尿中排泄速度は低下する。

23. 小児の成長・発達について正しいのはどれか。

- ① 小児は脳頭蓋が大きく、出生時の頭囲は胸囲より大きいですが、生後2年でほぼ同じになる。
- ② 乳児の胸郭は、たる状態で横断面はほぼ円形に近いが、年齢が進むにつれ左右径が短く前後径が長くなる。
- ③ 小児の成長を評価する指標として、県が5年ごとに調査している乳幼児身体発育パーセンタイル曲線がある。
- ④ 乳歯は、2歳～2歳6カ月までにすべての歯20本がはえそろう。

24. 白血病患児の看護について誤っているのはどれか。

- ① 急性期には、面会制限を行い感染予防に努める。
- ② 出血予防のため、かたい歯ブラシの使用は避ける。
- ③ 児が好むおもちゃは、どんなものでも遊べるようにして、快適な日常生活を送れるよう工夫する。
- ④ 寛解期には、できる限り家族や友人との交流を行えるように配慮する。

25. 母乳について誤っているのはどれか。

- ① 初乳は、水様透明で粘稠な乳汁や黄色の乳汁である。
- ② 初乳は産褥2～4日まで続く。
- ③ 免疫グロブリンMが多量に含まれている。
- ④ 栄養価が高く、タンパク質や無機塩類が多く含まれる。

26. 新生児の状態について誤っているのはどれか。

- ① 体温は出生後24時間で、36.8～37.2℃に上昇する。
- ② 心拍数は出生後24時間で、150～180回/分となる。
- ③ 出生直後は、赤血球数500～800万/ μ L、ヘモグロビン量19～22 g/dLである。
- ④ 臍帯は、次第に乾燥・萎縮し5～6日頃に脱落する。

27. 精神病院への入院形態について正しいのはどれか。

- ① 任意入院では、症状が悪化すれば入院形態を変更できる。
- ② 措置入院では、手紙の発信が制限される。
- ③ 医療保護入院では、本人の同意が必要である。
- ④ 応急入院では、保護者の同意が必要である。

28. プロセスレコードの目的で誤っているのはどれか。

- ① 自己洞察を深める。
- ② 自我意識を高める。
- ③ コミュニケーション技術が向上する。
- ④ 客観的な観察力が身につく。

29. 無為・自閉の患者への対応で適切なのはどれか。

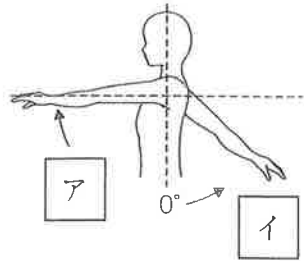
- ① 自ら活動し出すまで、黙って見守る。
- ② 入浴や私物整理などの生活指導を控える。
- ③ 行動パターンを観察し、活動を働きかける。
- ④ 患者の思いを傾聴し、意思を尊重する。

30. 妄想時の看護について正しいのはどれか。

- ① 患者の訴えをよく聞き、不明な点は繰り返し聞いて確認する。
- ② 身体的な訴えは、幻覚による症状であることを説明する。
- ③ 現実的な体験ができる日常生活行動を促す。
- ④ 症状が活発に現れている時は、個室で隔離し様子を観察する。

2 下記の設問に答えなさい。

1. 肩関節運動の屈曲はどれか記号で答えなさい。



出典：新看護学7 基礎看護 [2] 医学書院 p147

2. 下記の文章の () 内に適切な語句を入れなさい。

- 1) 糖尿病の昏睡時にみられる深く、大きな呼吸を () 呼吸という。
- 2) 脳腫瘍や尿毒症でみられる無呼吸の後、次第に呼吸の深さが増し徐々に減少し、再び無呼吸となる呼吸を () 呼吸という。
- 3) 老人性難聴は、内耳・内耳神経・聴覚神経の老化によっておこる () 性難聴である。
- 4) 原始反射で児を仰臥位にした時、顔を一方に向けると向いた側の上下肢を伸展し、他側を屈曲させフェンシングのような姿勢をとる反射を () 反射という。
- 5) H. E. ペプロウは、看護師－患者関係の発展段階を、方向づけ、()、開拓利用、問題解決の4段階に特徴づけられるとした。

3 下記の設問に答えなさい。

1. 疾病各期の看護目標について誤っているのはどれか。

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| a 健康～半健康期 | _____ | 衛生教育 |
| b 急性期 | _____ | 苦痛の緩和 |
| c 慢性期 | _____ | 社会復帰 |
| d 回復期 | _____ | セルフケア |

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

2. スタンダードプリコーション (標準予防策) に含まれているのはどれか。

- a 手指衛生
- b 個人防護具 (PPE)
- c 咳エチケット
- d リネンの取り扱い

- ① aのみ ② a, b ③ a, b, c ④ a～dすべて

3. 肺がんについて正しいのはどれか。

- a 男女比は3～4：1と男性に多く、40～50歳代の壮年期に多い。
- b 大細胞がんは男性に多く、喫煙との関係が深い。
- c 根治をめざした手術は、腫瘍を含めた肺葉の切除とリンパ節郭清をあわせて行うのが一般的である。
- d 予後は小細胞がんが最も悪く、扁平上皮がんが比較的よい傾向にある。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

4. 内分泌・代謝疾患患者の看護で正しいのはどれか。

- a 尿崩症患者は、1日あたり3～10Lの尿が排出されるため、脱水の予防と症状の早期発見が重要である。
- b アジソン病患者は、さまざまなストレスによって副腎クリーゼを起こすことがあるため、ストレス状況を把握する。
- c 糖尿病患者の運動療法は、眼底出血や腎症の原因となることもあるため、できるだけ行わないように伝える。
- d 痛風発作時は、患部の温罨法と安静、禁酒を促す。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

5. 老年期の人格で特徴的でないのはどれか。

- a 自己中心性 ———— わがまま、頑固
- b 猜疑心 ———— 邪推・嫉妬・ひがみなどの形をとって現われる
- c 外向性 ———— 外界への関心があり、社会を形作ろうとする
- d 革新性 ———— 古い習慣を嫌い、現代の習慣や考え方を重んじる

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

6. 老人施設の特徴について正しいのはどれか。

- a 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は、生活自立度ランクCの利用者が多い。
- b 短期入所生活介護（ショートステイ）は、要支援の高齢者を短期に入所させる施設である。
- c 養護老人ホームは、60歳以上の高齢者が無料または低額な料金で入所し、日常生活に必要な支援を行う施設である。
- d 介護老人保健施設は、病状安定期にあり入院治療をする必要はないが、リハビリテーションや看護を必要とする要介護者が対象である。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

7. 認知症高齢者の基本的な接し方について、誤っているのはどれか。
- a 自尊心やプライドを傷つけないように、その人の世界に合わせる。
 - b 他人に迷惑な行動をした時は、叱り説得する。
 - c 一つのことに固執しているときは、話題を変えずに一緒に考える。
 - d 何度も同じ質問を繰り返すときは、その度に同じ対応をする。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

8. 感染症の潜伏期と感染経路について、誤っているのはどれか。

- a 突発性発疹 ————— 10～12日 ————— 飛沫感染
- b 溶レン菌感染症 ———— 1～5日 ————— 飛沫感染
- c 手足口病 ————— 3～5日 ————— 飛沫・接触感染
- d 伝染性紅斑 ————— 1～3日 ————— 接触感染

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

9. 小児疾患患児の看護について誤っているのはどれか。

- a 乳児下痢症では、下痢が激しい時は脱水予防のため、ミルクのみとする。
- b 肥厚性幽門狭窄症では噴水状の嘔吐がみられるため、授乳後に寝かせる時は上体を起こし左側臥位にする。
- c 血友病は第Ⅷ凝固因子が先天的に欠乏しており、関節内出血をきたすため生活面での調整や自己管理の指導が必要である。
- d 低出生体重児は、体重が小さく皮下脂肪も少ないため、低体温に注意する。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

10. 下記の文章で誤っているのはどれか。

- a わが国の人工妊娠中絶の件数は、近年やや減少してきているが、19歳以下の件数をみると上昇傾向にある。
- b 10代（15～19歳）の性感染症罹患率は、非クラミジア性性器炎が最も多い。
- c 血族結婚の場合は、遺伝病が発現する確率が高くなるため、指導が必要である。
- d 更年期障害の症状の現れ方には、非常に個人差が大きい。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

11. 正常分娩について正しいのはどれか。

- a 10分ごとの規則的陣痛が起こった時を分娩開始とする。
- b 分娩第2期とは、分娩開始から子宮口が10cm開大するまでの期間をいう。
- c ノンストレステスト（NST）は、胎児発育の評価が可能である。
- d フリードマン曲線とは、分娩経過を子宮口の開大の進行によって、グラフ化したものをいう。

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

12. 次の組み合わせで正しいのはどれか。

- a リワーク支援（職場復帰支援）—— 就労経験がない人は対象外である
- b アウトリーチ（訪問支援）—— 医療や福祉サービスにつながった段階で支援する
- c 包括型地域生活支援（ACT）—— 多職種によるチームが支援を提供する
- d 地域相談支援 —— 施設や病院を退所後の生活の準備、退所後の生活支援を行う

① a, b ② b, c ③ c, d ④ a, d

4 下記の設問に答えなさい。

1. 酸素を4L/分、吸入中の呼吸不全の患者を、酸素ボンベ（500L・14.7MPa充填）を用いて検査室に移動することになった。ボンベの内圧計は6MPaを示している。このボンベでの吸入可能な時間を答えなさい。
2. 6歳児で体重25kg。標準体重を20kgとした場合の肥満度と、その判定を答えなさい。

看護科 総合型選抜 (A0) 入学試験問題 (小論文) 2021年度生・2022年度生

2021年度生	成功と失敗から学ぶこと
2022年度生	自ら学ぶということ

※800字以内で述べなさい。